

100年のあゆみ



伊勢原市石田自治会

目 次

1. 自治会長挨拶と各界代表者ご挨拶	2
2. 石田自治会航空写真・範囲地図	7
3. 石田地区の歴史と自治会設立の経緯	9
4. 歴代の区長及び自治会長	1 2
5. 自治会法人化の経緯	1 3
6. 写真で見る 1 0 0 年間の地域の記録	1 4
7. 地区内各学校と企業	2 4
8. 石田地区各団体の受賞写真	2 5
9. 石田自治会館建設の記録	2 7
1 0. 石田自治会 1 0 0 周年記念事業組織	3 0
1 1. 石田自治会 1 0 0 周年記念事業への協力団体・協力者	3 1
1 2. 石田地区在住長寿者(令和 6 年 1 月 1 日現在)	3 2
1 3. 年表	3 3
1 4. 令和 5 年度石田自治会組織	3 6
1 5. 石田の統計資料	3 8
1 6. 参考文献	3 8
1 7. 編纂後記	3 9

2. 自治会長挨拶と各界代表者ご挨拶

自治会長挨拶 石田自治会創設 100 周年に寄せて

石田自治会長 飯原和夫氏



大正12年に石田自治会が創設され、今年100周年を迎えました。

4年前、100周年を記念し、長年の懸案である自治会館新築移転と併せて100年誌発刊を計画し、無事完成式典を迎えることが出来ました。この日を迎えることが出来たのは、敷地所有者の子安神社様が土地使用の申し出に対し、快く応諾下さいましたことや関係各位のご協力と熱意の賜物と心より感謝申し上げます。

100年に亘る歴史の中には、大地震や先の大戦など筆舌に尽くせない事変が有りました。このような時でも自助、共助、公助、つまり自治会の原点である助け合いにより乗り切れたものと思われます。

さて、新会館は益々高齢化する社会に対応するため、使い易さ、耐震性、バリアフリーを特に考慮した施設としました。公共施設としての利用はもちろん、防災面でも地域に欠かせない施設として、住民の安全、安心な地域づくりの拠点施設としてその役割を担います。

一方、100年誌は編纂にあたり、古い写真の収集や時代の生き証人の方々からの聞き取り調査など、地域の歴史を正確に伝える工夫がされております。この記念誌は地域の100年史であり、保存版として未永く伝承して下さいますようお願いいたします。

結びに立派な会館建設に添え、記念誌が上梓されましたが、是非とも有意義な活用によりコミュニティ活動が盛んになり、地域住民の益々の幸福と健康増進に寄与できることを祈念申し上げます。

市長ご挨拶 石田自治会創設 100 周年に寄せて

伊勢原市長 高山松太郎氏



この度、石田自治会が創設 100 周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。日頃より市政に対し、深い御理解と御協力を賜り、住みよいまちづくり、地域づくりのために大変なご尽力をいただいておりますことに対して、心より感謝申し上げます。

石田自治会におかれましては、伊勢原市内 101 ある自治会のうち、最多の世帯数を抱える自治会であり、また、100 年間、1 世紀という長きに亘り激変する時代の中で、自治会役員の方々を中心に、住民の皆様の助け合いの精神により、多くの課題をクリアされ、自治会創設 100 周年をお迎えになられたと伺っております。これもひとえに、地域住民の皆様の地元愛と熱意の賜と深く敬意を表するものであります。

伊勢原市としても、地域の皆様の積極的な活動により、自治会を盛り上げていただき、それが市政の発展へと繋がっていくことと認識しております。

また、自治会創設 100 周年記念事業として、新たな集いの場が誕生すること及び「石田自治会創設 100 周年記念誌」の発行につきましても、誠におめでとうございます。

新たに地域コミュニティ及び防災の拠点となる自治会館の建設にあたっては、自治会長様をはじめ、役員の皆様方におかれましても、多くの御苦勞があったとお察しいたします。改めて、皆様方の御努力と熱意に敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

新たな石田自治会の船出の時でございます。「記念誌」という末永く伝承されてきた航海図を参考としつつ、自治会の原点である助け合いの精神で、自治会長様をはじめとする役員の皆様の舵取りにより、さらなる活発な地域活動が継続されることを御期待申し上げます。

結びに、石田自治会員の皆様の御健勝と石田自治会の益々の御発展を御祈念申し上げまして御挨拶とさせていただきます。

石田商工振興会会長ご挨拶 石田自治会創設 100 周年に寄せて

石田商工振興会会長 照木博中氏



石田自治会永年の歴史、創設 100 年を心からお祝い申し上げます。

もとより大正の時代より、石田地域住民のためにご尽力された、歴代の会長さんをはじめ、理事、役員、会員の皆様に対しまして深く敬意を表します。また自治会館の新築完成、誠におめでとうございます。

私は昭和 56 年に静岡県の田舎より石田に来て 42 年になりますが、石田は第一に交通の便が良く、生活の上での色々な施設、店舗等々が充実しており、また、自然災害がほとんどなく、温暖で環境が大変良く、住み良い所であると常に思います。住人の皆様も穏やかで気さくで心優しい方々が多いと感じています。

さて、石田自治会は活動が広く石田商工振興会に対して正月のどんど焼き商工祭りを始め、盆踊り商工祭、敬老事業、イルミネーション事業等々、大変協力して頂き、この場を借りて厚く御礼申し上げます。今後も微力ながら石田、近隣住民との交流、親睦を発展させたいと考えています。自営業者、会員が減少する中で、更にご協力をお願いすることがあるかもしれませんが、その時はよろしくお願いいたします。

結びに石田地区が更に発展し、住み良い街となり、末永く平和であることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

自治会館建設委員長挨拶 石田自治会創設 100 周年に寄せて

自治会館建設委員長・成瀬活性化委員会会長
愛甲石田駅前開発整備研究会会長 足立 安章氏



石田自治会の自治活動の灯りが灯されて早くも 100 年の歳月が流れ、この度輝かしい 100 周年を迎えられ心からお祝い申し上げます。

大正 12 年郡長制度が廃止になり、当長制度から区長会に移行し、さらに戦後自治会としての名称変更を経て現在に至りました。

設立当初に関東大震災の爪痕があり、建物の崩壊や道路の亀裂が発生し、修理や補修を行う中で、当時の役員や住民は助け合いの精神で一致団結して復興を成し遂げました。

その後、自然災害で河川の補修や道普請を自治会の土木部署が行い、地区の安全を守ってきました。

また、田の畔に稲を植え、その収穫で老人や長寿の方々のお祝いを神社の集会所で行うなど歴代役員のご苦勞のおかげで現在の石田自治会があります。

記念誌の発行にあたって昔の景観を顧みますと、すっかり様変わりして今では昔を伝えるものが数少なくなり、この記念誌の写真を見て、当時の石田地区の雰囲気や人々の表情が鮮やかに蘇ってきました。皆様の御協力により貴重な資料、情報や写真が提供され、お陰様で立派な記念誌を発行できましたのは、編纂委員会の皆様の御努力によるものであり、ここに深く感謝申し上げます。

さて新石田自治会館の建設にあたりましては、石田子安神社のご厚意を受け建設地を提供下さり、自治会として建設委員会を立ち上げ各委員会が協議や会議を積み重ねて進めてまいりました。少子高齢化や次世代に向けた設計を考慮しながら、バリアフリー、耐震化等を取り入れ、その中で使い易い公共施設として、地域の顔として、安全安心な地域の拠点して各団体の活用をお願いできる自治会館が出来たと思います。

役員や賛同者のご理解を得て設計がなされ、施工業者の誠心誠意を込めた工事により新自治会館が完成しました。長年の懸案でありました石田自治会の新拠点が完成し、併せて石田自治会 100 年史の発刊が出来、完成式典を挙行できるこの日を迎えることが出来ました。

新しく出来ました新石田自治会館を有意義に活用し、住みよい石田地区を更に発展させ、地域住民の益々の幸福と健康が推進出来ますことをお祈り申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

石田子安神社代表ご挨拶 石田自治会 100周年に向けて

石田子安神社責任代表 田中 徹氏



大正12年、地区の区長会として発足した「石田自治会」。それから、100年の年月が過ぎ、今ここに新たに建設された自治会館とともに、100周年を迎えますこと、誠におめでとうございます。心より、お慶び申し上げます。

現在の自治会館は、子安神社の境内地に建っており、自治会活動の拠点はもとより、様々な趣味の教室など、地域住民の憩いの場となっています。しかしながら時代の変遷に伴い、境内地からの移転を余儀なくされました。こうした中、歴代の自治会長と子安神社の役員で協議を進め、子安神社の境内地外の所有土地に新自治会館を建設することで合意をしました。このように子安神社としても、自治会と連携を図りながら、地域の発展に寄与していきます。

結びとして、石田自治会が、この地区は安心・安全でとても住みやすいと街と感じられるような街づくりのために、さらなる発展を遂げられるよう、心より祈念しています。

石田長寿会代表ご挨拶 石田自治会 100周年おめでとうございます

石田長寿会会長 清水宏子氏



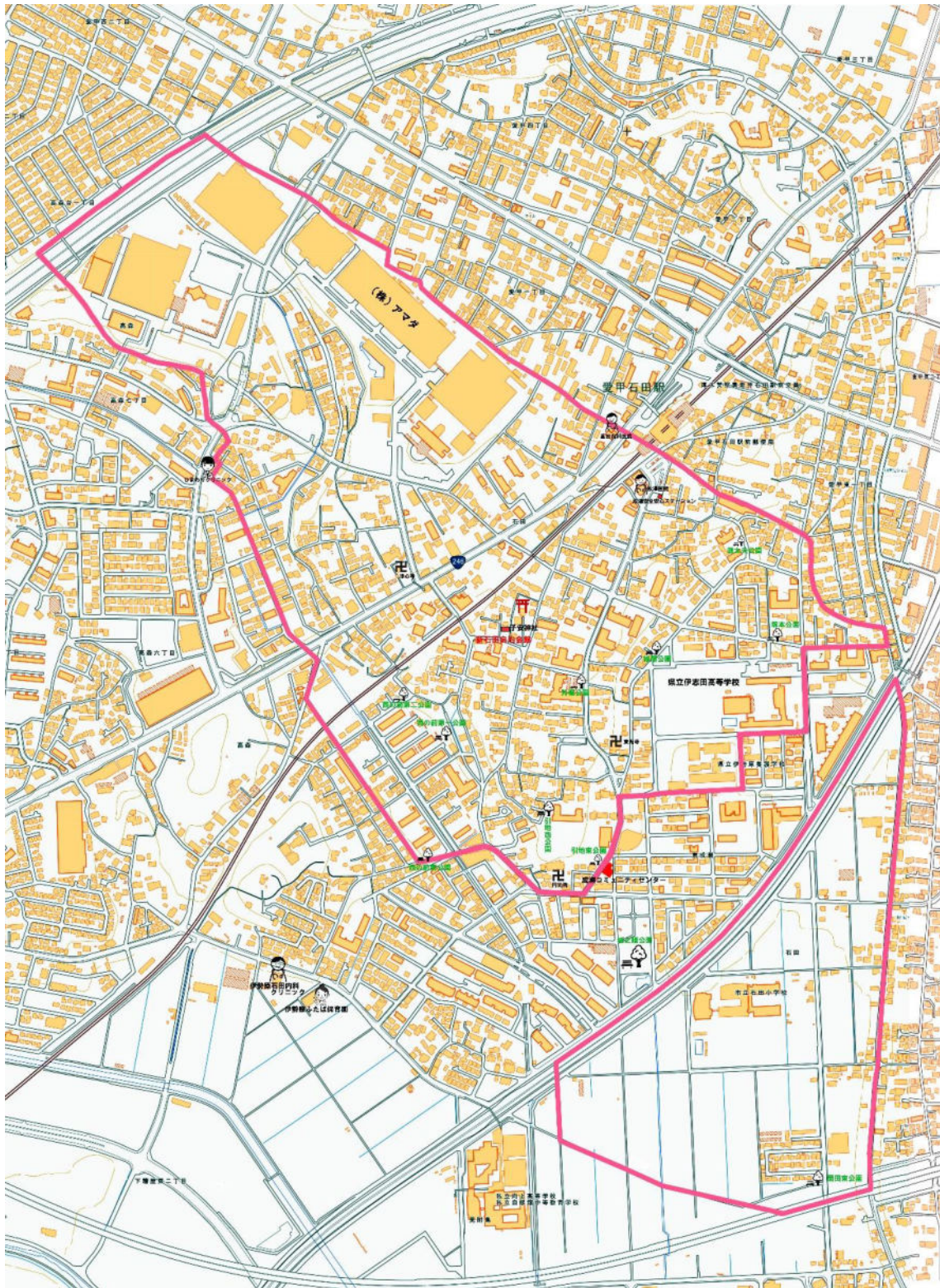
この変化の激しい時代、100年続いている自治会は、歴代の会長と役員皆様方の御努力の積み重ねが、この結果に繋がっていると思っています。

新型コロナウイルスが蔓延して市内の老人会の多くが解散してしまいました。その中で石田長寿会が踏み止まることが出来たのは、石田自治会皆様のご支援のお陰と感謝しています。100年の歴史をこれからも200年、300年と末永く継続されますようお願い申し上げます。我々長寿会もお互い健康に注意して、これからも活動を活発化して、地元の皆様と連携してゆきたいと考えています。

2. 石田自治会航空写真



石田自治会範囲地図



3. 石田地区の歴史と自治会設立の経緯

◆石田地区の歴史

私たちが住んでいるこの石田地域にはどんな歴史があるのでしょうか。皆様興味がお有りでしょう。私たちが住んでいるこの石田地域は古く万葉の時代にまで遡ります。当時この地域は「伊志太牟良」（万葉仮名）と呼ばれていました。ここで言う「伊志太」は石の田ではなく、「美（いし）」とは「おいしい」の古



語で、美田を意味しているものという解釈があります。下って鎌倉時代以降に鎌倉武士にとって大山、日向への参詣が熱い信仰心から大切とされ、その参詣道の途中にある石田地域は交通の要衝でした。北条政子が日向薬師を参詣したことつとに有名ですが源頼朝も参詣しています。

石田次郎為久(右)が木曾義仲を討ち取った図

その頃、地元石田には相模土着の豪族、三浦氏一門の一人石田次郎^{なめひさし}為久が石田郷の地名をとって石田姓を名乗り居を構え、近隣の愛甲には愛甲三郎^{すまたか}季隆、善波方面には善波太郎^{しげうじ}重氏、岡崎のあたりには岡崎城を根城にした岡崎四郎^{よしざね}義実など豪族が割拠していました。

石田次郎為久が天下に名を轟かせたのは、頼朝の命を受け源義経などと木曾義仲討伐軍に加わり天暦元年(1184 年)正月近江の国粟津原の合戦で木曾義仲を弓矢で打ち取ったこと



石田次郎為久の墓所

です(上図)。石田次郎為久の墓所は円光院に在ります。(左写真)住まいの石田城は内藤家の屋号が外堀^{とぼり}となっていることから現在の子安神社付近に在ったのではないかと推測されます。現に今建っている日神パレスレステージヴィジオールの建設に先立つ遺跡調査では大きな堀跡が発見されています。

石田の地名は宝暦 2 年(770)大住郡の石田郷として名が記されていて、後に石田本郷となりました。子安神社は 1170 年頃に建立されたと思われます。東光寺が 1573 年頃、浄心寺が 1574 年頃、円光院は建立不明と相模風土記に記されています。伊勢原で有名な太田道灌は上杉家の家臣でした。享徳 3 年(1454)から長禄元年(1457)まで山内家

上杉^{あきさだ}顕定が勢力を誇っていたがその老臣長尾景春が謀反を起こしたとき、扇谷^{おうぎがやつ}家の家宰^{かさい}太田道灌は景春の軍に参じ、厚木の溝呂木、(現愛川町)^{こさわ}小沢の金子掃部助^{かものすけ}、大磯の越後五郎、奥三保^{さんぽう}(津久井)の本間、高座の海老名などの居城を次々と落城させました。結果上杉定正の名声は一段と高まったが、山内家の上杉顕定は定正の信望を妬み、道灌が各所に築城を試みているのは両上杉家を滅亡させるためと讒訴^{ざんそ}し、足軽三千騎を擁する道灌への危惧を持ち、年若い定正は道灌を江戸城から文明18年(1486)相州糟屋館に呼び寄せ、風呂場で殺害させました。上杉館跡は現在の丸山城址公園であろうとの説が近年有力です。

石田本郷は後の慶長年間(1600年頃)に石田村と改称されています。徳川時代当初石田は幕府直轄地でしたが、三代将軍家光の代の寛永10年(1633)頃になって、「^{じかたなおし}地方直し」という幕府の政策が行われ、多くの中小旗本たちが蔵米(俸禄米)での暮らしから、知行地を与えられ旗本自身で経営させるように変更しました。これにより伊勢原地内は一気に旗本領化し、村々は新しい殿様(地頭)を迎えました。隣村同士でも全く違う殿様が支配することになり、石田村は松平昌吉(293石)と幕領(600石)に分かれました。その後1670年頃大住郡の大地震、1703年大山大地震、宝永4年(1707)の関東大地震、同年の富士山大噴火、などに襲われました。富士山大噴火時には大量の灰が降って田畑一面が真っ白になり、農作物は全く作れなくなりました。そのため、田畑に溝を掘り、そこに火山灰を入れその上に掘った土をかぶせる、いわゆる耕作地の天地返しを順に行う過酷な労働で切り抜けるしかありませんでした。

その後明治3年(1870)に廃藩置県がなされ、小田原県と改称され、のちに神奈川県となりました。明治10年(1877)には中郡がおかれ、明治22年(1889)に市町村制が出来、成瀬村が誕生して石田郷は成瀬村石田となりました。昭和29年(1954)伊勢原町、成瀬村、大山町、高部屋村、大田村、比々多村が町村合併し伊勢原町となりました。その後昭和46年には伊勢原市となりました。

大正12年(1923)の関東大地震では石田地内も大きな被害が出て、家がつぶれたり、大きく傾いたりした写真が残っています。この年政府が主導して全国に住民組織として区長会の設立を要請し石田地区にも区長会が出来ました。これが自治会発足の基になりました。

昭和になってからも昭和16年に玉川が氾濫し、石田地内も大きな被害が出ました。丁度太平洋戦争勃発の年で、男手が足りず女性が大勢出て人海戦術で玉川を新たに相模川へ真直ぐ繋げる新玉川を整備しました。その後は大きな水害は出ていません。

戦後伊勢原は農業を中心とした都市から商工業を産業の中心とした都市へと変貌してきました。石田地区内では石田商工振興会が中心となり、地域内の商工業活動を興隆させ日常生活基盤を安定させ、利便性を向上させています。加えて地域内では国道246号線が整備され、市内を東西に走る東名高速道路、小田原厚木道路、新東名自動車道路等が整備され、市内にも大山伊勢原インターチェンジが開設され、東名道路と新東名自動車道路のジャンクションも整備されて交通の要衝となってきています。

◆自治会設立の経緯

自治会の誕生は大正12年(1923)に起こった関東大地震がきっかけとなり、政府が全国の各市町村に号令し、区長制を敷き、住民の安否や地域住民の相互扶助制度を作ったのが始まりです。この制度開始と同時に我が石田地区も石田区長のもとに今の自治会の前身が誕生したわけです。

大正12年に初めて石田地区に区長会が結成され、内藤市太郎氏と足立増五郎氏が初代の区長となり今に至っています。当時は区長会という名称で、成瀬村の行政を補助する組織でした。戦前は隣組をまとめる組織として機能し、村行政と一体化して活動していました。戦後になり地方自治が確立するに伴い、自治会らしい活動が盛んになってきて、伊勢原町が昭和46年に伊勢原市となってからは本格的な自治活動が動き始め、地域の福祉増進と地域活動全般の中心的存在となり、少しずつ自主的な活動が出来るように成長してきました。

最近では地域内住民の生活向上全般について市行政との調整役としての機能を担い、地区内の身近な問題点全般について市と直接折衝する役も担っています。その結果、地区内の住民要望を市に要請することや、防災訓練から防犯パトロールを始め地区内の防犯活動の中心として活動しています。その他、防犯灯の管理、安全安心ステーションの見守り、体育祭の運営、敬老事業の実施、地区内清掃の実施、祭礼や各種催し物のお手伝いなど幅広くその活動を充実してきました。次に歴代区長と自治会長名と後には直近の自治会役員を列挙します。これからも地区内の生活がよりよくなるよう努力してまいります。

4. 歴代の区長及び自治会長 氏名と写真

大正12～13年度	内藤 市太郎、足立 増五郎	初代地区長以下昭和59年 まで地区長が続く。
大正15～昭和2年度	岩崎 喜三郎	
昭和3～5年度	露木 定吉	
昭和6～7年度	川野 忠蔵	
昭和8～9年度	溝呂木 市郎	
昭和10～11年度	岩崎 榮次	
昭和12～14年度	内藤 市太郎	
昭和15年度	岩崎 弥八	
昭和16年度	石井 邦利	
昭和17年度	川野 亀太郎	
昭和18～19年度	内藤 久米作	
昭和20～21年度	足立 正四	
昭和22年度	内藤 久米作	
昭和23年度	川野 忠男	
昭和24～26年度	石井 邦利	
昭和27年度	足立 文夫	
昭和27年度	足立 正四	
昭和27年度	高橋 喜一	
昭和28年度	岩崎 榮次	
昭和29～30年度	杉崎 正義	
昭和31年度	足立 正四	
昭和32年度	川野 忠男、足立 正四	
昭和33年度	内藤 義満	
昭和34年度	足立 正四	
昭和35～37、42年度	代田 勝蔵	
昭和42年度	杉崎 利之	
昭和43～44年度	足立 正四	
昭和45～47年度	岩崎 寛造	
昭和48～51年度	佐野 弥太郎	
昭和52～61年度	岩崎 才治	初代自治会長（S60年度より自治会となる）
昭和62～平成2年	代田 廣治	
平成3～8年度	高橋 光	
平成9～12年度	宮田 守夫	
平成13～18年度	内藤 正徳	
平成19～22年度	柴 泰一	
平成23～26年度	清水 輝雄	
平成27～30年度	宮原 政行	
令和元年度～	飯原 和夫	

自治会長写真



佐野弥太郎氏



岩崎才治氏



代田廣治氏



高橋 光氏



宮田守夫氏



内藤正徳氏



柴 泰一氏



清水輝雄氏



宮原政行氏



飯原和夫氏

5. 自治会法人化の経緯

法人化部会

石田自治会は令和4年5月25日付で《認可地縁団体》伊勢原市石田自治会が法人として認可を受けることが出来ました。

従来、自治会等の地縁による団体にはその保有不動産について自治会名で登記することが出来ませんでした。その保有を巡って他自治会では相続時などにトラブルがあったようです。平成3年に地方自治法が改正され、自治会が一定の要件を満たす場合に市町村の認可を受けることにより法人格を取得し、不動産登記の名義人となることが出来る制度《認可地縁制度》が導入されました。

令和3年に再度の改正がなされ、不動産の保有予定の有無に関わらず、地域的な共同活動を円滑に行うためであれば法人化が可能となりました。つまり、自治会が法人格を有することで社会的な信用が高まり地域活動をより活性化することが出来るようになりました。

4年前、折しも100周年に合わせて自治会館の新設移転の機運が高まっている時期でした。建設には補助金制度を使わねば出来ませんが、補助金の申請には法人化が必須条件です。法人化申請には、規約の改正を始め、膨大な資料作成を自治会役員が担い作成しました。また申請には市民協働課の熱意溢れるご指導を仰ぎ、申請し認可を受けることが出来ました。このことにより、令和5年8月に補助金を受領し、積立金に加え有志の寄付金により新自治会館が竣工できましたことを併せてご報告申し上げます。

6. 写真で見る100年間の地域の記録

大正12年関東大震災で伊勢原周辺は大きな災害に見舞われました。



倒壊した鎌倉の鶴岡八幡宮

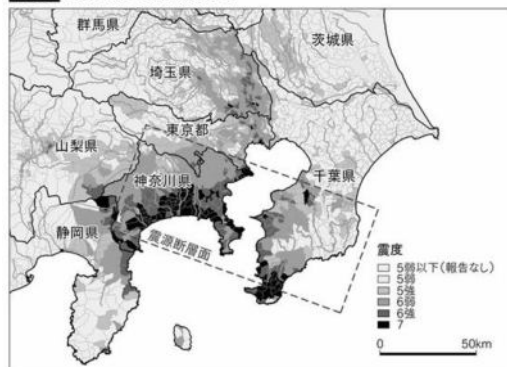
倒壊した鶴岡八幡宮



横浜港大橋の被害。突如は竜巻を生じ施設の大半が壊失したが、残存部分を使って避難民の輸送と救護物資の搬あげが行われた。

震災後の横浜の惨状

図表3 関東地震の推定震度分布



関東大震災で一番被害が大きかったのは実は県央部



震災後の石田地区の被害状況



市内の惨状



往時の子安神社



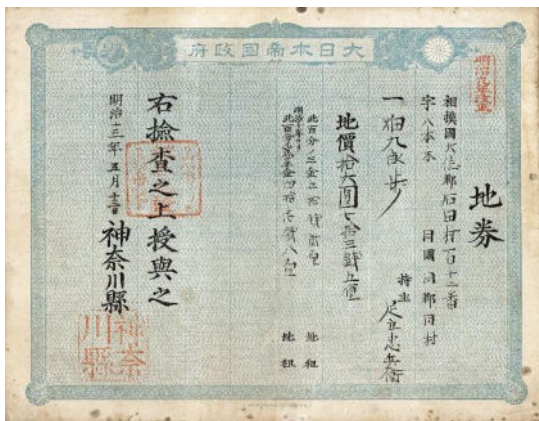
現在の子安神社



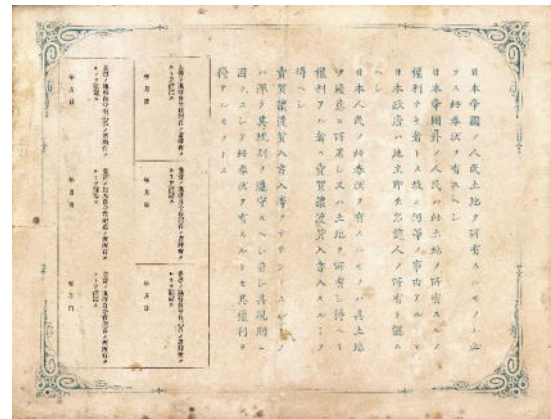
昭和 9 年剣道大会優勝



昭和 16 年成瀬村託児所



明治時代の地券



地券-裏



昭和 16 年 4 月玉川 (内藤宏子氏資料)



昭和 16 年 7 月玉川の氾濫 (同左)



昭和 16 年の玉川の氾濫と新たに新玉川を掘削する女性たち (殆ど女性、男性は軍隊へ)



当時の農村風景



昭和30年代のお祭り



昭和27年盆踊り



昭和34年子供神輿



当時の子安神社前の道



愛甲石田駅北側現在の R246 沿いの商店



地区対抗駅伝競走で優勝した石田チーム(昭和10年頃)



昭和2年には小田急線が開通し、愛甲石田にも駅が出来た。



その後ロマンスカーも



愛甲石田駅北側は農地が一面に広がる。



昭和35年上下線ホーム間は線路を歩いた。



昭和30年頃水神様の湧水は豊富だった



昭和35年当時の自治会館前の道路



昭和30年7月21日ビルマ(現ミャンマー)ウーヌー首相成瀬村に来村歓迎の盆踊



昭和59年のゲートボール風景



当時の凧あげ風景



昭和30年代右側の建物が当時自治会使用の建物



昭和50年代の3号踏切付近



東光寺住職の入山式



端午の節句風景



平成3年成瀬コミュニティセンターが完成



平成7年建て替え後のヨロズヤ



平成7年農協前の交差点、相鉄ローゼンがあった



上は東成瀬付近の開発初期の風景



上は県立伊志田高校(開校昭和 51 年)の建設風景



愛甲石田駅南口「峯遺跡」の発掘風景(平成 1 3 年)



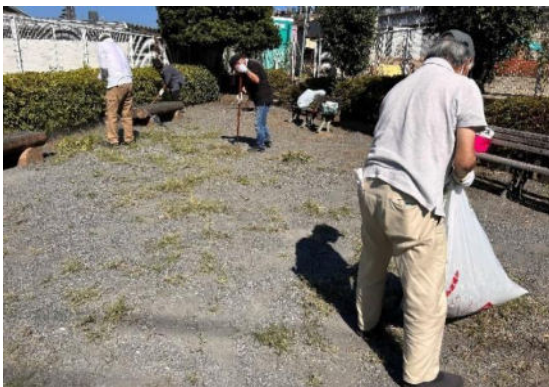
外堀遺跡の発掘(令和2年)



子安神社例大祭



甲冑隊の行進



地区以内公園の清掃活動風景



南口広場の花植え活動



駅前清掃活動



県立伊志田高校生徒による駅前清掃活動



駅前清掃活動後の集合写真(令和5年)



子安神社でのラジオ体操後の写真(令和4年)



子安神社の祭礼風景



盆踊り風景



子安神社例大祭時の石見神楽(大蛇)^{いわみ}^{おろち}令和5年4月



ラジオ体操風景(令和5年6月)



ラジオ体操時に医師からの健康ミニ講話と伊勢原警察署署長訓話(令和5年6月)

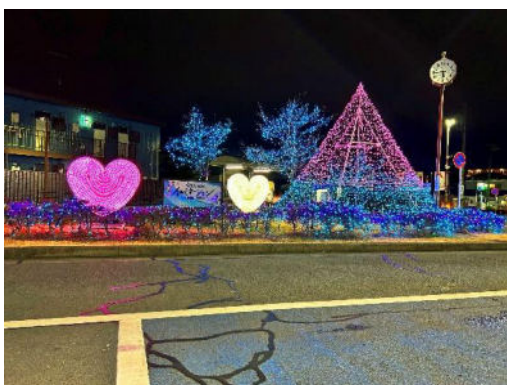


正月のどんと焼き風景(令和5年1月)



どんと焼き会場での石田自治会の焼き鳥販売

どんと焼き会場全景



愛甲石田駅南口広場のイルミネーション



プレミアム商品券発売（令和4年11月）



防犯パトロール風景



平成24年4月成瀬安全安心ステーション完成式



防犯パトロール前の集合風景



総班長会風景



通学路の安全化作業



市役所市長への新春挨拶風景



令和5年度役員写真

7. 地区内各学校と企業



県立伊志田高等学校



向上高等学校と自修館中等教育学校



県立伊勢原支援学校



市立成瀬中学校



市立成瀬小学校



市立緑台小学校



市立石田小学校



旧(株)太田鉄工所



(株)アマダ



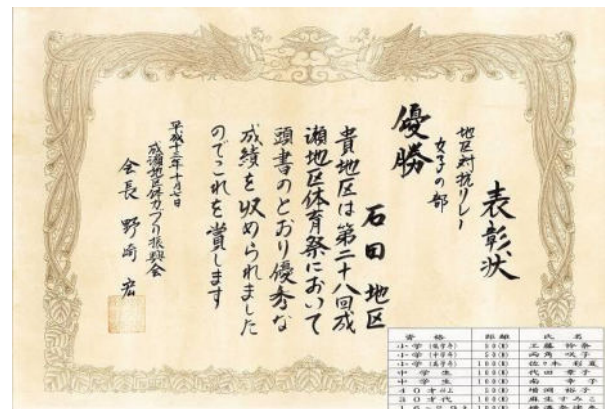
鈴木油脂(株) 本社と左下は石田工場

8. 石田地区各団体の受賞写真

石田自治会関係(多数のため抜粋しました)



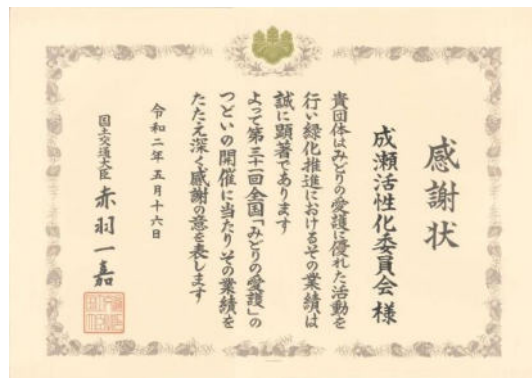
2013(平成 25)年地域安全活動感謝状



成瀬活性化委員会関係



2019(令和元年)神奈川県地域安全活動感謝状



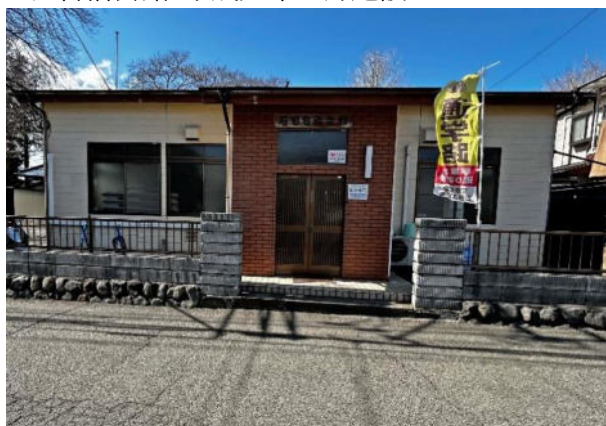
2020(令和2)みどりの愛護国土交通大臣賞受賞



2020（令和2）手づくり故郷賞国土交通大臣賞受賞

9. 自治会館建設の記録

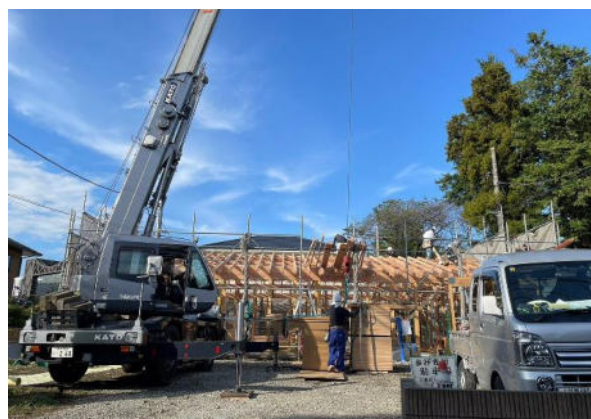
旧自治会館 平成元年 3 月建設



新自治会館地鎮祭 令和 5 年 8 月

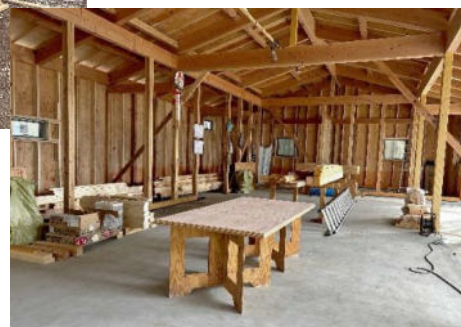


上棟式 令和 5 年 1 0 月





基礎工事



内部工事

建築確認済表示看板



令和6年1月頃の自治会館

新築なった新石田自治会館



会館内部 左：西側を望む 右：東側を望む

定礎



新石田自治会館建物概要

建物建設地	伊勢原市石田 7 0 6 - 7
建物様式	木造平屋建て(建築面積 127.34 m ²)
構造	軸組み在来工法
延べ床面積	119.40 m ² (36.12 坪)
収容人員	6 0 名(ステージ式) 椅子式会議室
建築経費	建設費用(令和 4、5 年度合計)



コミュニティ助成金を受けたことを明示している表示板が入口表に掲示されています。

総額：42,563,322 円

資金内訳 預金(過年度繰越金)：16,097,322 円

コミュニティ助成金 : 15,000,000 円

有志寄付金(118 名) : 11,466,000 円

その他

バリアフリー化	高齢者・障害者等考慮
会議室の仕様変更	全床フローリングとする。利用目的により畳マットを敷く
トイレ	男女別に配置した
みんなのトイレ	女子トイレ内に多目的トイレ機能を追加した
WiFi	自治会活動に必要な設備を導入 災害時の連絡体制を別途考慮する 一般には公開しない
事務室の新設	自治会運営に必要な最小限の執務室を新設
照明の LED 化	省エネ化のため最大限採用した
利用予約方法	近隣の方へ依頼していたものを直接自治会館で申し込む形式に変更した
耐震構造	災害時などに一時的な避難場所・連絡拠点となるよう配慮した
施 工	有限会社 安田建設工業
設計・監理	ミヤジスペースデザイン一級建築士事務所

10. 石田自治会100周年記念事業組織

石田自治会建設準備委員会組織表

令和5年4月1日

統括責任者	石田自治会長	飯原 和夫	顧問（全体助言及び部会担当）
統括代理	前副会長	井出 弟雄	八島 満雄 総務部会担当
統括会計	副会長	岩崎 亨	岩崎 榮 建設部会担当
			安藤 玄一 式典部会担当
建設委員長		足立 安章	
☆建設副委員長		井出 弟雄	
☆建設副委員長		宮原 政行	
（総務部会）			
◎委員長			（担当業務）
（総務委員会）			建設資金の調整及び進行管理
◎岩崎 亨	満呂木 敬	大貫義治	会員総会関係
◎委員長			
（法人化委員会）			市役所関係連絡調整
◎飯原和夫	井出弟雄	高橋基久	神社関係連絡調整
（建設部会）			
◎委員長	○副委員長		（担当業務）
（建設委員会）			・発注者：石田自治会
◎中村昌彦	柴 泰一	満呂木國俊	建物関係取りまとめ
○清水輝雄	清水宏子		見積書及び補助金申請関係
			法人化申請に伴う書類作成
◎委員長	○副委員長		
（資金計画委員会）			
◎沖山佳弘	井出弟雄	田中 徹	寄付金など資金調整
○柴 泰一	照木博中	松尾 勇	
	宮田三郎	加藤俊之	
（式典部会）			
◎委員長			（担当業務）
（式典委員会）			地鎮祭、上棟式、竣工式
◎満呂木 敬	鈴木博人	高橋基久	自治会館利用申込方式策定
	渡邊たけお	岩崎敏昭	
◎委員長			
（100周年記念誌委員会）			
◎清水輝雄	岩崎智弘	大貫義治	記念誌の発行関係
	岩崎 亨		

（注）各委員については、推薦により変更することができる。

1 1. 石田自治会 1 0 0 周年記念事業への協力団体・協力者

(記載は順不同)

寄付総額 11,466,000 円

新自治会館建設寄付団体・寄付者一覧（記載は順不同とし敬称を略します）。

- 100 万円：(株)鈴木油脂、(有)テルキ、飯原和夫、
50 万円：足立安章、清水輝雄、溝呂木敬、
30 万円：川野忠一、大門ヒロ子、岩崎 亨、(有)足立工務店、
25 万円：柴 泰一、宮原政行、大貫義治、
20 万円：岩崎正彦、石田子安神社、内藤君子、
10 万円：岩崎 榮、岩崎治子、高橋利弘、内藤正徳、灰田宗孝、深瀬静子、沖山佳弘、
中村昌彦、成瀬活性化委員会、川田商会、圓光院(森芳光)、浄心寺(長谷川光順)、
(株)葛貫商店(よろずや石田店)、中栄信用金庫、(株)アマダ、(株)横浜銀行愛甲
石田支店、イワサキ自動車(株)、(有)一伸工業、(有)岩崎電気商会、(有)安田建設工業、
ミヤジスペースデザイナー級建築士事務所、石田商工振興会、
5 万円：岩崎 勲、梅原利雄、岡田武人、川野房江、代田 豊、福田昌夫、牧田一夫、
溝呂木國俊、森山 博、岩崎智弘、内藤理容店、行政書士田中徹事務所、
(有)金城建設、相田義明(安田屋)、伊勢原大神宮、
3 万円：足立正男、足立和市、池田敏昭、井出弟雄、稲葉正久、岩崎 勝、岩崎 繁、
清水宏子、代田 功、瀬戸秀司、瀬戸正義、高瀬七五三、高橋 實、田口多喜造、
田中昭彦、田中 豊、道上共榮、鈴木博人、高橋基久、松尾 勇、宮田三郎、
岩崎敏昭、渡邊たけお、加藤俊之、石田長寿会、カトウ光研(株)、
伊勢原石田内科クリニック、
2 万円：朝倉直之、高橋貞夫、学研ココファン愛甲石田、湘和会館愛甲石田、
わくわくヨガ、
1 万円：安藤隆幸、生澤幹雄、岩崎和子、神部卓夫、喜多野昌男、木村一郎、小菅哲雄、
小林昭彦、佐藤あや子、瀬戸幸治、瀬戸紀彰、直江とき子、萩原満芳、船橋 哲
和田弘行、火曜ピラティス、石田ヨガクラブ、カフェレストランポポコ、
NPO 法人ひだまりリサイクルショップなじみや、リラックスヨガ、
5 千円：梅原 裕、瀬戸敏子、瀬戸利雄、金曜書道会、木曜フラダンス、コスモ精機(株)、
(株)ニューウエーブめんどり、(有)前田不動産、和らぎの会、一点五番、
百年誌印刷：(株)小島ラベル印刷、
機材等：伊勢原市消防団第 5 分団第 1 部(会議テーブル一式)、清水輝雄(絵画一点)
(有)図工(事務所什器一式)、

1 2. 石田地区在住長寿者(令和 6 年 1 月 1 日現在)

石田地区には 90 歳以上の長寿者が 80 名居られます。改めて敬意を表します。その中でも最高齢の國井貢さん(101 歳)をご紹介します。以下、國井さんに直接お逢いしてお話をお伺いした内容を記します。

☆國井 貢さん(101 歳) 大正 12 年 3 月 2 日山形県天童市にて誕生

問：日頃のモットーは何ですか

答：何事にも感謝の心を持ち合わせています(いつも、いつもありがとう---です)。

問：どんな人生でしたか。

答：大きな運を 3 回頂きました。※一つ目は亡き妻と出会えたこと。※二つ目は健康に恵まれたこと。※三つめは勤務先に恵まれたこと。です。

問：楽しみは何でしょうか。

答：千葉に住んでいる次男が毎週木曜日に来てくれることです。そして、一緒に買い物に行ってくれます。

石田の高齢者施設に入所されておられます。日頃より新自治会館前を散歩で通りますが、「完成が楽しみです」とのことでした。110 歳を目標に長生きしてくださいと握手して別れました。(インタビュー飯原和夫)



1 3. 年表

石田自治会年表-1

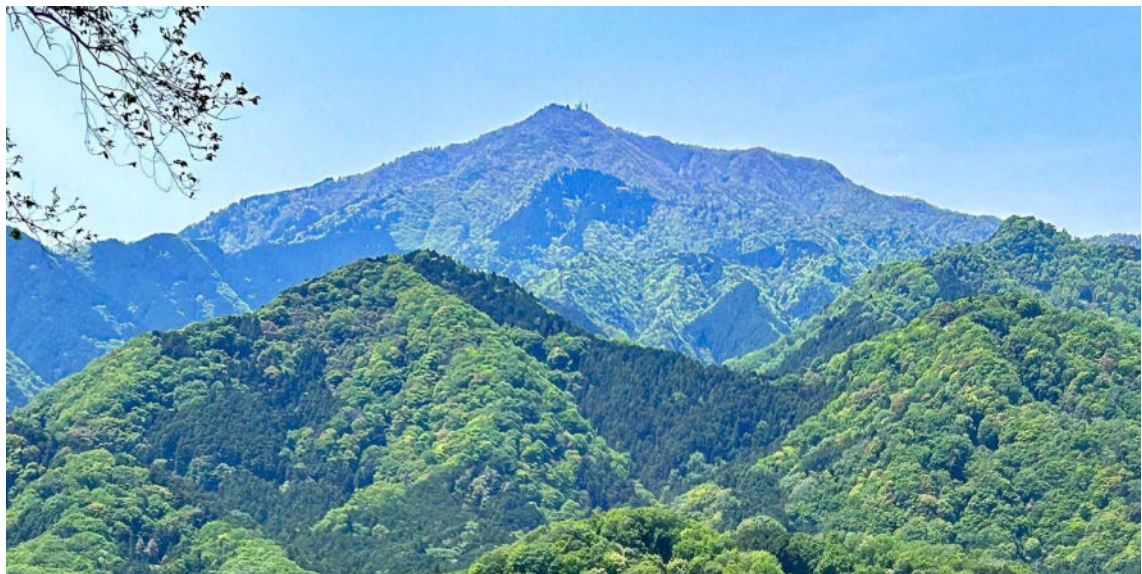
西暦	和歴	出来事	市内の状況
1923	大正12	9/1関東大震災	市内に区長会が発足、石田区長会も発足
1924	大正13	1/1 5 相模地震	
1925	大正14	ラジオ放送開始、山手線環状運転開始	
1926	昭和元年	戦艦三笠横須賀にで保存	伊勢原警察署設立
1927	昭和2	リンドバーグ大西洋横断飛行成功	4/1小田急線開通、昭和用水開通
1928	昭和3	昭和金融恐慌、ペーブルス夢の60本塁打	
1929	昭和4	世界大恐慌、エノケン浅草で大活躍	
1930	昭和5	浜口首相狙撃される、特急つばめ東京神戸9時間	
1931	昭和6	満州事変勃発	大山ケーブルカー運転開始
1932	昭和7	満州国建国宣言	
1933	昭和8	ヒットラー全権掌握、日本国際連盟脱退	
1934	昭和9	忠犬ハチ公像完成、ネス湖にネッシー？	
1935	昭和10	ファシズム台頭	
1936	昭和11	二・二・六事件発生	
1937	昭和12	日中全面戦争へ	
1938	昭和13	日中戦争泥沼化	
1939	昭和14	双葉山69連勝	消防団を警防団に改称
1940	昭和15	紀元2,600年	
1941	昭和16	12/8日本が米英に宣戦布告	国民学校令施行
1942	昭和17	本土初空襲	食塩の通帳配給制
1943	昭和18	イタリア無条件降伏	
1944	昭和19	アメリカで原子爆弾完成	神奈川中央乗合自動車設立
1945	昭和20	広島長崎原爆投下、8/15終戦	
1946	昭和21	占領軍支配、闇市盛ん	
1947	昭和22	日本国憲法発布、共同募金開始	国民学校63制となる。警防団消防団に改称
1948	昭和23	太宰治自殺	伊勢原町警察署発足、成瀬村農協、村診療所開所
1949	昭和24	1ドル360円の単一為替レート設定 湯川秀樹氏日本人初ノーベル賞受賞	パトリシア台風被災6名
1950	昭和25	朝鮮戦争勃発、年齢を満で数えることに	完全給食開始
1951	昭和26	民間放送始まる	米屋の民営復活
1952	昭和27	講和条約発効	成瀬公民館開館
1953	昭和28	エベレスト登頂	
1954	昭和29	第五福竜丸事件発生、 円以下の小銭廃止、力道山人気	大山町、成瀬村、高部屋村、比々多村、大田村が 伊勢原町と合併
1955	昭和30	神武景気	ビルマ(現ミャンマー)ウーヌー首相夫妻国賓として来日、石田地区視察子安神社で歓迎セレモニー 全国に先駆けて有線放送開始
1956	昭和31	日本国連加盟	
1957	昭和32	宗谷南極基地建設	
1958	昭和33	皇太子妃正田美智子さんに決まる、	伊勢原町で全国初農業空中散布
1959	昭和34	国民年金施行	西部用水が完成
1960	昭和35	TVが普及、安保闘争	日本アルミ石田に進出、大山県立自然公園となる
1961	昭和36	ケネディ大統領に、ガガーリン宇宙へ	アマダ製作所、アンネ工場誘致
1962	昭和37	堀江謙一さん単独太平洋横断	
1963	昭和38	東名高速、小田厚確定杭開始	市内1号の石田児童館竣工、秦野との清掃工場完成
1964	昭和39	東海道新幹線開通、東京オリンピック開催	子安松天然記念物指定、R246改修工事完成、 塚本双葉幼稚園開園。アマダ石田に進出、大山ケーブルカー再開通
1965	昭和40	丹沢大山国定公園指定、	
1966	昭和41	ビートルズ初来日	大山の原生林県天然記念物指定
1967	昭和42	ミニスカート大流行	高森団地入居開始、町立成瀬中学校完成、伊勢原町消防署発足

石田自治会年表-2

西暦	和歴	出来事	市内の状況
1968	昭和43	川端康成氏ノーベル文学賞受賞	
1969	昭和44	中地方事務所廃止、湘南地区行政センター新設	東名高速、、小田厚開通、石田商工振興会発足
1970	昭和45	大阪万博	
1971	昭和46	沖縄返還協定調印	伊勢原町が市制施行
1972	昭和47	横井庄一さん帰国	人口5万人に、東高森、あかね台団地入居開始
1973	昭和48	第一次オイルショック、ハイセイコーブーム	
1974	昭和49	小野田寛郎元少尉帰国	
1975	昭和50	ベトナム戦争終結	人口6万人を越える 伊勢原市に東海大学医学部付属病院開院
1976	昭和51	田中角栄前首相ロッキード疑獄で逮捕	県立伊志田高校開校、成瀬支所石田店開設
1977	昭和52	王756号ホームラン達成	
1978	昭和53	成田空港開港、成田闘争勃発、日中平和友好条約	緑台小学校開校、R246に歩道橋完成
1979	昭和54	第二次オイルショック、具志堅用高V10	県立伊勢原養護学校開校、産業能率大学開校。休日診療所八幡台に開所、
1980	昭和55	山口百恵さん引退、	伊勢原市民文化会館開設、人口7万人を越える
1981	昭和56	スペースシャトル発進、神戸ポートピア81開幕	米港ラ・ミラダ市と姉妹都市調印
1982	昭和57	上越新幹線、東北新幹線開通	
1983	昭和58	東京ディズニーランド開園、おしんブーム	成瀬第一地区の区画整理事業開始 4月に旧石田自治会館竣工
1984	昭和59	福沢諭吉1万円札、平均寿命男女とも世界一に	
1985	昭和60	日航ジャンボ機墜落、筑波科学万博開催	区長会が自治会組織となり石田自治会誕生
1986	昭和61	大島三原山噴火、チェルノブイリ原発爆発	第1回大山登山マラソン大会、茅野市と姉妹都市、 県中学校駅伝大会で成瀬中学校アベック優勝
1987	昭和62	国鉄民営化、	愛甲石田駅橋上駅舎及び南北自由通路完成、総合 運動公園体育館完成、
1988	昭和63	青函トンネル開通	新町名東成瀬誕生
1989	平成元年	消費税3%導入、美空ひばり逝去、ベルリンの壁崩壊	4/2現石田自治会館完成・使用開始 市立図書館、こども科学館完成。
1990	平成2	日本経済バブル崩壊、東西ドイツ統一	
1991	平成3	ソ連解体、湾岸戦争勃発、バブル景気終焉	成瀬コミュニティセンター開設、人口9万人に
1992	平成4	三内丸山遺跡発掘、岩崎恭子さん中学生金メダル	消防署西分署完成、
1993	平成5	Jリーグ誕生、皇太子と雅子さんご結婚	
1994	平成6	関西国際空港開港、大江健三郎ノーベル文学賞	塚本双葉幼稚園閉鎖、
1995	平成7	阪神淡路大震災発生、地下鉄サリン事件発生、 ウィンドウズ95発売ネット社会到来	資源の分別収集市内全域で開始、
1996	平成8	狂牛病・O-157事件発生	
1997	平成9	消費税5%に、香港返還、諫早湾干拓事業完成	シティプラザ開館、シルバー人材センター設立
1998	平成10	長野冬季オリンピック開催	第53回国民体育大会開催され、市内でソフトボール・ライフル射撃大会実施、
1999	平成11	上原・松坂が最多勝、白木屋閉店、ユーロ通貨統一	石田小学校開校
2000	平成12	シドニー五輪村高橋金メダル	介護保険制度開始、
2001	平成13	天皇第1子愛子様誕生、米国同時多発テロ発生	市制30周年、9/10人口10万人になる
2002	平成14	サッカーワールドカップ開催	愛甲石田駅にエレベーター完成、愛甲石田駅北口 広場とロータリー完成、
2003	平成15	SAASがアジア中心に大流行	
2004	平成16	市町村合併で7府県11市誕生、 5千円樋口一葉、千円野口英世 新札発行	
2005	平成17	中部空港開港、	
2006	平成18	安倍政権発足、荒川静香金メダル	愛甲石田駅南口広場完成
2007	平成19	新潟中越沖地震発生	

石田自治会年表-3

西暦	和歴	出来事	市内の状況
2008	平成20	日本人4人ノーベル賞、南部陽一郎、益川敏英、小林誠、下村脩各氏	
2009	平成21	裁判員裁判始まる	3月成瀬活性化委員会発足、第1回愛甲石田駅南口ロータリー祭り開催
2010	平成22	小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶり帰還、小惑星の砂を持帰る、	7月子安神社でラジオ体操開始 8月機関紙「なるせの風」創刊
2011	平成23	東日本大震災発生、福島第一原発事故発生、	市制40周年
2012	平成24	山中伸弥教授iPS細胞でノーベル賞、東京スカイツリー開業	自治会90周年、成瀬安全安心ステーション開設
2013	平成25	富士山が世界遺産に。	駅前ロータリー南側他2か所に防犯カメラ新
2014	平成26	御嶽山噴火、青色LEDでノーベル賞赤崎勇、天野浩、中村修二各氏、消費税8%へ引き上げ	東成瀬循環バス開通、第1回スポーツチャレンジデー
2015	平成27	ノーベル賞大村智、梶田隆章各氏	
2016	平成28	アメリカ大統領トランプ氏当選	石田長寿会50周年、9月歌川循環バス開通
2017	平成29	将棋の藤井聡太4段29連勝	民生委員制度創設100周年、公園愛護会石田地内9か所スタート
2018	平成30	羽生結弦平昌五輪でフィギュア2連覇	
2019	令和元年	平成天皇譲位し令和天皇即位、消費税10%に	防犯功労者表彰受賞、石田商工振興会50周年、新東名高速道路伊勢原ジャンクション開通
2020	令和2	新型コロナ発生3/11パンデミック宣言	みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰5/16 手づくり故郷賞(国土交通大臣表彰)受賞12/4
2021	令和3	東京オリンピック・パラリンピック開催、ワクチン接種開始	市制50周年、新東名高速道路伊勢原大山IC開通
2022	令和4	青学大箱根駅伝総合5V、ロシアによるウクライナ侵攻	自治会100周年、石田自治会法人として認可
2023	令和5	コビット19終息	石田商工振興会かながわ商店街特別賞受賞1/5 コンピューターのAIシステム化が社会問題化
2024	令和6	新紙幣発行 1万円札：渋沢栄一、5千円札：津田梅子、千円札：北里柴三郎	1/1令和6年能登半島地震発生、 2月新自治会館完成



1 4. 令和5年度石田自治会組織

令和5年度

伊勢原市石田自治会

役員等構成表

令和5年7月30日

職 名	職 務 (担当地区)	氏 名
会 長	総 括	飯原和夫
副会長	宿全般、 防犯・防災統括	沖山佳弘
副会長	東1地区全般 会計統括	岩崎 亨
副会長	自治会館建設統括、 庶務統括（敬老）	中村昌彦
役 員	東2地区全般、庶務 文化体育統括	大貫義治
役 員	衛生統括、 文化体育（体育祭）	照木博中
役 員	南地区全般、 防災・防犯・衛生	岩崎智弘
役 員	会計、 文化体育（体育祭）	満呂木敬
役 員	防災、防犯、 文化体育（祭事）	鈴木博人
役 員	自治会館担当、 自治会館建設	高橋基久
役 員	防犯、 文化体育（敬老）	宮田三郎
役 員	広報、文化体育 (公民館祭り・敬老)	松尾 勇
役 員	文化体育 (公民館祭り・祭事)	渡邊たけお
役 員	文化体育 (公民館祭り・祭事)	岩崎敏昭
役 員	庶務、文化体育 (公民館祭り・祭事)	加藤俊之
自治会館建設 準備委員会	会 長	足立 安章
	副会長	宮原 政行
	同	井出 弟雄
自治会100 年史編集	編集長	清水 輝雄

職 名	氏 名
防災委員	鈴木宣明
スポーツ 推進委員	大貫義治
体育普及員	瀬戸紀彰
交通指導員	井沼利雄
交通指導員	重田貴大
交通指導員	田中啓之
青少年指導員	今井春樹
防犯指導員	岩崎智弘
防犯指導員	瀬戸数義
民生委員	柴 泰一
民生委員	常磐政子
民生委員	加藤俊之
民生委員	山口百合子
民生委員	森山 博
衛生委員	照木博中
自治会館管理	内藤理容店
監事	尾形いくみ
監事	瀬戸延治

役員会（一般事項執行）

総班長会（重要事項決定）

班長（特別事項決定）

令和5年度自治会役員構成表・総班長、班長

東 地 区							
班番	総班長氏名	戸数	班番	班長氏名	戸数	合計	
50班	重田嘉子	4	48班	小菅哲雄	5	9	
55班	中川 栄	5	52班	秋山芳司	5	36	
			53班	瀬戸秀司	4		
			54班	山崎義春	5		
			56班	池田敏昭	10		
			109班	品川 満	7		
57班	守屋雄二	10	60班	宮地友康	14	28	
131班	岩崎弘子	4	126班	岡山 肇	4	32	
			58班	相馬喜恵	11		
			115班	園田敏也	8		
			116班	木村敬典	9		
62班	灰田宗孝	7	59班	岩崎敏一	10	26	
51班	奥木常允	9	61班	後藤 通	9	39	
			63班	鈴木宗一郎	7		
			118班	鈴木智行	13		
			119班	齋藤 浩	10		
107班	大内良介	6	75班	東谷美代子	13	25	
111班	林 充	68	78班	長沼エドアルド	6	68	
			日神ﾊﾞﾚｰｼﾞﾌﾞﾙｽﾄ				
			65班	加藤俊之	4		21
			66班	杉田文綱	5		
67班	宮原政行	4	68班	宮原 清	8	32	
76班	上甲 亮	32	リーフィアレジデンス 愛甲石田				
112班	尾形いくみ	24	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南		24		
70班	森 芳光	10	69班	満呂木敏	7		17
72班	齋藤知典	11	71班	叶 旭東	10	31	
74班	江口 潤	10	73班	佐藤あい子	10	19	
80班	富田幸次郎	41	77班	川本英立	9	41	
81班	羽鳥圭子	66				66	
82班	嶋田真一	73				73	
83班	足立正男	5	レクセル愛甲石田		41	松尾 勇	
114班	佐藤浩史	7	パークハイツ愛甲石田		66	20	
			84班	井出浩二	4		
			85班	井出健一	11		
			86班	岩崎好子	5		25
			87班	森本 功	4		
88班	掛端哲弥	9	37				
89班	杉崎武男	5					
90班	齋藤真一	10		91班	杉崎 香	6	
93班	小島由紀子	7		92班	高梨 治	11	30
			93班	杉崎 武男	5		
			94班	広瀬佳司	12		
			95班	平湯 徹	13		
96班	奥山真継	12	96班	永島一宏	8	56	
			97班	柴 泰一	8		
			98班	藤原博美	9		
			99班	木村拓司	8		
			100班	杉崎文隆	4		100班
101班	戸澤米男	12					
102班	大石慶之	11					
103班	古谷 健	6	83				
104班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田ｸﾞﾗﾝﾄﾞ			83			
105班	加藤俊之	4					
106班	杉田文綱	5					
107班	宮原政行	4	107班		宮原 清	8	32
108班	リーフィアレジデンス 愛甲石田		32				
109班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南			24			
110班	満呂木敏	7					
111班	叶 旭東	10			31		
112班	佐藤あい子	10	19				
113班	川本英立	9		41			
114班	羽鳥圭子	66				66	
115班	嶋田真一	73			73		
116班	足立正男	5	20				
117班	岩崎好子	5		25			
118班	森本 功	4				37	
119班	掛端哲弥	9			30		
120班	杉崎武男	5	56				
121班	杉崎 香	6		44			
122班	高梨 治	11				83	
123班	広瀬佳司	12			83		
124班	平湯 徹	13	83				
125班	永島一宏	8		83			
126班	柴 泰一	8				83	
127班	藤原博美	9			83		
128班	木村拓司	8	83				
129班	飯田浩一	3		83			
130班	戸澤米男	12				83	
131班	大石慶之	11			83		
132班	古谷 健	6	83				
133班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田ｸﾞﾗﾝﾄﾞ			83			
134班	加藤俊之	4				83	
135班	杉田文綱	5			83		
136班	宮原政行	4	83				
137班	リーフィアレジデンス 愛甲石田			83			
138班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南					83	
139班	満呂木敏	7			83		
140班	叶 旭東	10	83				
141班	佐藤あい子	10		83			
142班	川本英立	9				83	
143班	羽鳥圭子	66			83		
144班	嶋田真一	73	83				
145班	足立正男	5		83			
146班	岩崎好子	5				83	
147班	森本 功	4			83		
148班	掛端哲弥	9	83				
149班	杉崎武男	5		83			
150班	杉崎 香	6				83	
151班	高梨 治	11			83		
152班	広瀬佳司	12	83				
153班	平湯 徹	13		83			
154班	永島一宏	8				83	
155班	柴 泰一	8			83		
156班	藤原博美	9	83				
157班	木村拓司	8		83			
158班	飯田浩一	3				83	
159班	戸澤米男	12			83		
160班	大石慶之	11	83				
161班	古谷 健	6		83			
162班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田ｸﾞﾗﾝﾄﾞ					83	
163班	加藤俊之	4			83		
164班	杉田文綱	5	83				
165班	宮原政行	4		83			
166班	リーフィアレジデンス 愛甲石田					83	
167班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南				83		
168班	満呂木敏	7	83				
169班	叶 旭東	10		83			
170班	佐藤あい子	10				83	
171班	川本英立	9			83		
172班	羽鳥圭子	66	83				
173班	嶋田真一	73		83			
174班	足立正男	5				83	
175班	岩崎好子	5			83		
176班	森本 功	4	83				
177班	掛端哲弥	9		83			
178班	杉崎武男	5				83	
179班	杉崎 香	6			83		
180班	高梨 治	11	83				
181班	広瀬佳司	12		83			
182班	平湯 徹	13				83	
183班	永島一宏	8			83		
184班	柴 泰一	8	83				
185班	藤原博美	9		83			
186班	木村拓司	8				83	
187班	飯田浩一	3			83		
188班	戸澤米男	12	83				
189班	大石慶之	11		83			
190班	古谷 健	6				83	
191班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田ｸﾞﾗﾝﾄﾞ				83		
192班	加藤俊之	4	83				
193班	杉田文綱	5		83			
194班	宮原政行	4				83	
195班	リーフィアレジデンス 愛甲石田				83		
196班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南		83				
197班	満呂木敏	7		83			
198班	叶 旭東	10				83	
199班	佐藤あい子	10			83		
200班	川本英立	9	83				
201班	羽鳥圭子	66		83			
202班	嶋田真一	73				83	
203班	足立正男	5			83		
204班	岩崎好子	5	83				
205班	森本 功	4		83			
206班	掛端哲弥	9				83	
207班	杉崎武男	5			83		
208班	杉崎 香	6	83				
209班	高梨 治	11		83			
210班	広瀬佳司	12				83	
211班	平湯 徹	13			83		
212班	永島一宏	8	83				
213班	柴 泰一	8		83			
214班	藤原博美	9				83	
215班	木村拓司	8			83		
216班	飯田浩一	3	83				
217班	戸澤米男	12		83			
218班	大石慶之	11				83	
219班	古谷 健	6			83		
220班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田ｸﾞﾗﾝﾄﾞ		83				
221班	加藤俊之	4		83			
222班	杉田文綱	5				83	
223班	宮原政行	4			83		
224班	リーフィアレジデンス 愛甲石田		83				
225班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南			83			
226班	満呂木敏	7				83	
227班	叶 旭東	10			83		
228班	佐藤あい子	10	83				
229班	川本英立	9		83			
230班	羽鳥圭子	66				83	
231班	嶋田真一	73			83		
232班	足立正男	5	83				
233班	岩崎好子	5		83			
234班	森本 功	4				83	
235班	掛端哲弥	9			83		
236班	杉崎武男	5	83				
237班	杉崎 香	6		83			
238班	高梨 治	11				83	
239班	広瀬佳司	12			83		
240班	平湯 徹	13	83				
241班	永島一宏	8		83			
242班	柴 泰一	8				83	
243班	藤原博美	9			83		
244班	木村拓司	8	83				
245班	飯田浩一	3		83			
246班	戸澤米男	12				83	
247班	大石慶之	11			83		
248班	古谷 健	6	83				
249班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田ｸﾞﾗﾝﾄﾞ			83			
250班	加藤俊之	4				83	
251班	杉田文綱	5			83		
252班	宮原政行	4	83				
253班	リーフィアレジデンス 愛甲石田			83			
254班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南					83	
255班	満呂木敏	7			83		
256班	叶 旭東	10	83				
257班	佐藤あい子	10		83			
258班	川本英立	9				83	
259班	羽鳥圭子	66			83		
260班	嶋田真一	73	83				
261班	足立正男	5		83			
262班	岩崎好子	5				83	
263班	森本 功	4			83		
264班	掛端哲弥	9	83				
265班	杉崎武男	5		83			
266班	杉崎 香	6				83	
267班	高梨 治	11			83		
268班	広瀬佳司	12	83				
269班	平湯 徹	13		83			
270班	永島一宏	8				83	
271班	柴 泰一	8			83		
272班	藤原博美	9	83				
273班	木村拓司	8		83			
274班	飯田浩一	3				83	
275班	戸澤米男	12			83		
276班	大石慶之	11	83				
277班	古谷 健	6		83			
278班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田ｸﾞﾗﾝﾄﾞ					83	
279班	加藤俊之	4			83		
280班	杉田文綱	5	83				
281班	宮原政行	4		83			
282班	リーフィアレジデンス 愛甲石田					83	
283班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南				83		
284班	満呂木敏	7	83				
285班	叶 旭東	10		83			
286班	佐藤あい子	10				83	
287班	川本英立	9			83		
288班	羽鳥圭子	66	83				
289班	嶋田真一	73		83			
290班	足立正男	5				83	
291班	岩崎好子	5			83		
292班	森本 功	4	83				
293班	掛端哲弥	9		83			
294班	杉崎武男	5				83	
295班	杉崎 香	6			83		
296班	高梨 治	11	83				
297班	広瀬佳司	12		83			
298班	平湯 徹	13				83	
299班	永島一宏	8			83		
300班	柴 泰一	8	83				
301班	藤原博美	9		83			
302班	木村拓司	8				83	
303班	飯田浩一	3			83		
304班	戸澤米男	12	83				
305班	大石慶之	11		83			
306班	古谷 健	6				83	
307班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田ｸﾞﾗﾝﾄﾞ				83		
308班	加藤俊之	4	83				
309班	杉田文綱	5		83			
310班	宮原政行	4				83	
311班	リーフィアレジデンス 愛甲石田				83		
312班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南		83				
313班	満呂木敏	7		83			
314班	叶 旭東	10				83	
315班	佐藤あい子	10			83		
316班	川本英立	9	83				
317班	羽鳥圭子	66		83			
318班	嶋田真一	73				83	
319班	足立正男	5			83		
320班	岩崎好子	5	83				
321班	森本 功	4		83			
322班	掛端哲弥	9				83	
323班	杉崎武男	5			83		
324班	杉崎 香	6	83				
325班	高梨 治	11		83			
326班	広瀬佳司	12				83	
327班	平湯 徹	13			83		
328班	永島一宏	8	83				
329班	柴 泰一	8		83			
330班	藤原博美	9				83	
331班	木村拓司	8			83		
332班	飯田浩一	3	83				
333班	戸澤米男	12		83			
334班	大石慶之	11				83	
335班	古谷 健	6			83		
336班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田ｸﾞﾗﾝﾄﾞ		83				
337班	加藤俊之	4		83			
338班	杉田文綱	5				83	
339班	宮原政行	4			83		
340班	リーフィアレジデンス 愛甲石田		83				
341班	日神ﾊﾞﾚｰｼﾞ 愛甲石田南			83			
342班	満呂木敏	7				83	
343班	叶 旭東	10			83		
344班	佐藤あい子	10	83				
345班	川本英立	9		83			
346班	羽鳥圭子	66				83	
347班	嶋田真一	73			83		
348班	足立正男	5	83				
349班	岩崎好子	5		83			
350班	森本 功	4				83	
351班	掛端哲弥	9			83		
352班	杉崎武男	5	83				
353班	杉崎 香	6		83			
354班	高梨 治	11				83	
355班	広瀬佳司	12			83		
356班	平湯 徹	13	83				
357班	永島一宏	8		83			
358班	柴 泰一	8				83	
359班	藤原博美	9			83		
360班							

1 5. 石田の統計資料

(1) 石田の地勢

面積 111.57ha (東京ドーム 約24個分 伊勢原市全体5,556.00haの2.0% 成瀬地区851.55haの13.1%)

東西 約 1.49Km、南北 約 1.88Km

北緯 35.41分45秒、東経 139.34分08秒 (新自治会館付近)

(2) 石田の年齢別人口構成(住民基本台帳人口)

西暦	和暦	総人口				15歳未満(年少人口)						15歳～64歳(生産年齢人口)						65歳以上(老年人口)						石田自治会		
						人口			構成比			人口			構成比			人口			構成比			班数	加入世帯数※	加入率 (世帯単位)
		男	女	計	世帯数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
2009	平成21年	3,060	2,830	5,890	—	497	494	991	16.2%	17.5%	16.8%	2,210	1,924	4,134	72.2%	68.0%	70.2%	353	412	765	11.5%	14.6%	13.0%	107	1,162	—
2010	平成22年	3,036	2,834	5,870	2,499	474	495	969	15.6%	17.5%	16.5%	2,196	1,908	4,104	72.3%	67.3%	69.9%	366	431	797	12.1%	15.2%	13.6%	107	1,174	46.98%
2011	平成23年	3,042	2,842	5,884	2,526	466	471	937	15.3%	16.6%	15.9%	2,201	1,917	4,118	72.4%	67.5%	70.0%	375	454	829	12.3%	16.0%	14.1%	110	1,185	46.91%
2012	平成24年	3,052	2,821	5,881	2,534	448	456	904	14.7%	16.2%	15.4%	2,209	1,911	4,120	72.4%	67.7%	70.1%	395	462	857	12.9%	16.4%	14.6%	110	1,204	47.51%
2013	平成25年	3,129	2,903	6,032	2,639	443	427	870	14.2%	14.7%	14.4%	2,266	1,995	4,261	72.4%	68.7%	70.6%	420	481	901	13.4%	16.6%	14.9%	113	1,216	46.08%
2014	平成26年	3,131	2,906	6,037	2,679	429	429	858	13.7%	14.8%	14.2%	2,259	1,958	4,217	72.1%	67.4%	69.9%	443	519	962	14.1%	17.9%	15.9%	115	1,252	46.73%
2015	平成27年	3,331	3,128	6,459	2,893	458	445	903	13.7%	14.2%	14.0%	2,393	2,125	4,518	71.8%	67.9%	69.9%	480	558	1,038	14.4%	17.8%	16.1%	115	1,301	44.97%
2016	平成28年	3,536	3,304	6,840	3,078	493	470	963	13.9%	14.2%	14.1%	2,545	2,258	4,803	72.0%	68.3%	70.2%	498	576	1,074	14.1%	17.4%	15.7%	117	1,369	44.48%
2017	平成29年	3,569	3,332	6,901	3,113	494	472	966	13.8%	14.2%	14.0%	2,570	2,244	4,814	72.0%	67.3%	69.8%	505	616	1,121	14.1%	18.5%	16.2%	117	1,384	44.46%
2018	平成30年	3,581	3,371	6,952	3,195	474	463	937	13.2%	13.7%	13.5%	2,601	2,278	4,879	72.6%	67.6%	70.2%	506	630	1,136	14.1%	18.7%	16.3%	121	1,388	43.44%
2019	平成31年	3,655	3,433	7,088	3,303	492	465	957	13.5%	13.5%	13.5%	2,647	2,324	4,971	72.4%	67.7%	70.1%	516	644	1,160	14.1%	18.8%	16.4%	123	1,401	42.42%
2020	令和2年	3,631	3,415	7,046	3,332	459	452	911	12.6%	13.2%	12.9%	2,646	2,297	4,943	72.9%	67.3%	70.2%	526	666	1,192	14.5%	19.5%	16.9%	125	1,395	41.87%
2021	令和3年	3,631	3,357	6,988	3,364	444	404	848	12.2%	12.0%	12.1%	2,630	2,274	4,904	72.4%	67.7%	70.2%	557	679	1,236	15.3%	20.2%	17.7%	125	1,394	41.44%
2022	令和4年	3,606	3,311	6,917	3,356	424	399	823	11.8%	12.1%	11.9%	2,613	2,218	4,831	72.5%	67.0%	69.8%	569	694	1,263	15.8%	21.0%	18.3%	125	1,403	41.81%
2023	令和5年	3,637	3,329	6,966	3,442	439	375	814	12.1%	11.3%	11.7%	2,616	2,257	4,873	71.9%	67.8%	70.0%	582	697	1,279	16.0%	20.9%	18.4%	131	1,410	40.96%

[参考:清川村 人口 2,773人 世帯数 1,257世帯(R.5.7.1) / 真鶴町 人口6,776人 世帯数3,408世帯(R.5.8.1)]

(※加入世帯には、班に属さない賃貸住宅会員約450世帯を含みません。)

1 6. 参考文献 記念誌作成に際し参考とした文献類

- ・ 明治 100 年の歴史 編修委員代表小西四郎 講談社 1968.4.29 発行
- ・ 神奈川県中郡勢誌 編集 中地方事務所発行 S28.3.31 発行
- ・ 伊勢原市石田の歴史 太田重良編 11983.3.1 発行
- ・ 伊勢原市立成瀬小学校 100 年のあゆみ 創立百周年記念史編集習委員会 1979.5.20 発行
- ・ 写真で見る伊勢原・石田の 100 年 石田商工振興会・足立安章 2002.7.21 発行
- ・ いせはら史跡と文化財のまち 伊勢原市教育委員会教育部文化財 2014.3.31 第三版発行
- ・ 史跡と文化財のこの街を語る 伊勢原市教育委員会教育部文化財課 1981.3.31 発行
安達久雄著
- ・ 石田遺跡写真資料 2001-12
- ・ 石田外堀遺跡と駅前広場 20051112
- ・ 伊勢原市とすることについての申請書 19701102(S45) 伊勢原町役場
- ・ 伊勢原市総合計画基本構想の調査研究報告書 19711201 伊勢原市
- ・ 石田峯遺跡第Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ地点 20040301
- ・ 石田桐ノ木遺跡第2地点 20131001
- ・ 石田商工振興会 50 周年記念誌 20190825 石田商工振興会
- ・ 外堀遺跡資料 伊勢原市
- ・ 石田部落公文書綴
- ・ 20150903 歴史博物館-足立安章
- ・ なるせ村の今昔-製本版 2013.8.15 足立安章

- 郷土をたずねて 1999.7.1 内藤宏子
- 石田よもやま話 2013.12.1 足立安章
- 石田伝承記 2013.12.1 足立安章
- 成瀬村勢誌 1954.12.1 足立安章
- なるせ村の今昔 2013.8.15 足立安章
- 朝日クロニクル 20 世紀 2001.1.10 朝日新聞社発刊
- 長野県木曽郡日義村義仲館の歴史画
- 足立安雄氏提供資料
- 宮原政行氏提供資料
- 岩崎 亨氏提供資料
- 加藤俊之氏提供資料
- 福田昌夫氏提供資料
- 福坂 章氏提供資料
- 清水輝雄氏提供資料
- 高橋明子氏提供資料（貞夫氏）

17. 編纂後記

編纂委員長 清水輝雄

令和4年度初めより、石田自治会百年を纏めて会員の皆様にお届けするべく、「石田自治会100年のあゆみ」の編纂に取り組み始めました。この「石田自治会100年のあゆみ」は新自治会館の建設と歩調を合わせて、自治会員の皆様に自治会創設100年という節目に当たり改めて地元自治会の歩みを見て頂こうということで編纂を始めました。

当初は各種資料をどのように集めるか、記念誌の構成をどのようにするかについての議論から始まり、編纂委員や、自治会役員、石田商工振興会、成瀬活性化委員会、石田子安神社、石田長寿会など地域の各種団体のご協力を頂き、徐々に体系が形として纏まってきて、ここに「伊勢原市石田自治会100年のあゆみ」を発刊することが出来ました。その間、地元の歴史を学び直し、新しい発見もありました。石田の歴史は地元に住む住民全員で築き上げて来たことを実感しています。この地に住んで本当に良かったと感じております。

発刊に当たり、ご協力くださいました関係各位に感謝申し上げますと共に、今後共、我が石田自治会を育み、大きく充実させてくださいますようお願い申し上げます。

編纂委員 飯原和夫

記念誌編纂委員として名前を連ねる機会を頂き感謝します。膨大な資料、写真等を一点一点読み解き、委員会でまとめ上げ上梓することが出来ました。委員皆様の熱意に心から敬意を表するばかりです。

編纂委員 大貫義治

石田自治会誌編纂委員会に参加させて頂き、成瀬・石田地域の時代背景や歴史を学ばさせて頂きました。各編纂委員の皆様の編集力に感謝しております。又、今後の石田自治会「100年のあゆみ」に寄与してまいります。ありがとうございました。

編纂委員 岩崎 亨

このたび、編纂委員として石田自治会の100年の歴史の勉強させていただきました。関東大震災以降の様々な地域の変化を知り、喜び、ご苦労などに感心すると同時にお互いの協力により地域の絆を培われてきた先人の方々に感謝します。今後の100年に向けて新たな自治会館が活用されますよう期待します。

編纂委員 岩崎智弘

清水編纂委員長の手腕に頼り切る場面も多くありましたが、いろいろな資料に触れ、先人の100年のご努力に感服し、歴史をつなぐ大変さを思い知りました。

生まれ育った 石田がより住みやすく誇れる街であり続けられるよう願って止みません。



編纂に携わったメンバー



石田の紋章

伊勢原市石田自治会100年のあゆみ

伊勢原市石田自治会創設100周年記念誌

令和6年3月31日発行

発行者 伊勢原市石田自治会

発行責任者 飯原和夫

編纂委員会 委員長：清水輝雄

委員：飯原和夫 大貫義治

岩崎智弘 岩崎 亨

印刷 株式会社小島ラベル印刷

